

市立保育所の給食 地元の食材を使用し 食の安全と食育を

問 市立保育所の給食に
おける食の安全や
食育などの現状は。

答 市立保育所の給
食では、栄養士を
中心に保育所長、
調理員からなる献
立委員会で統一献
立を作成しており、
食材は生産元が明
らかな明石近郊産
や県内産をできる



安全な給食おいしいな

限り使用している。また、食育計画に基づき、心身ともに健やかに育つよう発達に合った食事の取り方や望ましい食習慣の定着を図るとともに、食育活動として地元産の食材を使った体験講座の開催や、給食だよりによる食と保健衛生の情報を発信している。

栄養士の役割は重要

特別養護老人ホーム 高齢化のピークは平成37年度 計画に沿って施設を整備

問 特別養護老人ホーム
について、今後の必要
な施設数を聞く。また、
現在でも要介護3以上
の入所待機者が249
人いることから、施設
整備を計画より早く進

障害者の支援に向けた
取り組みを充実させて
いく。働くことは人生
の生きがいにつながる
ことから、今後も関係
機関と連携しながら支
援を引き続き行ってい

であること認識しており、平成26年度から1名増員し、衛生管理やアレルギー対策などの巡回指導を強化している。

また、これまでの献立の検証や新献立のための研修会の実施など、安全安心な給食の実施に取り組んでいる。

答 高齢化がピークを迎える平成37年度には、1500人程度が特別養護老人ホームへの入所が必要であると見込んでいる。現在1120床の施設が整備済みであり、あと380床程度の整備が必要であると考えている。また、従来の特別養護老人ホームでは用地の確保が困難であることから、定員29人以下の小規模で市民が優先的に利用できる地域密着型介護老人福祉施設の整備を計画している。

施設の早急な整備については、介護サービス給付が増大し、その結果、介護保険料の値上げにつながるため、計画に沿った施設整備を行っていききたい。

教育長

任命に同意

教育長として、公家裕氏(67歳・大蔵八幡町)を任命することに同意しました。

法改正によりこれまで教育委員会委員の中から選ばれていた教育長は市長が議会の同意を得て任命することになりました。

公家氏は、教育委員会事務局教育次長、人丸小学校長などを歴任し、平成20年から教育長を務めています。

また新制度では教育委員会を代表していた教育委員長は廃止され、その業務は教育長が行います。任期は4年から3年に変わりました。

選挙管理委員会

委員を選出

選挙管理委員会委員および同補充員を選出しました。

委員は森田尚敏氏(79歳・大久保町江井島)、尾園久明氏(75歳・松が丘4丁目)、川木菊正氏(80歳・魚住町西岡)、富田賢治氏(68歳・鷹匠町)の4名です。同補充員は、三好和彦氏(73歳・大久保町高丘3丁目)、榎本和夫氏(59歳・大久保町高丘6丁目)、船津憲二氏(74歳・西明石町2丁目)、橋賢一氏(72歳・魚住町西岡)の4名です。なお、選挙管理委員会委員の任期は4年です。

教育委員会委員

任命に同意

教育委員会委員の任期満了に伴い、井筒典久氏(42歳・上ノ丸1丁目)を引き続き任命することに同意しました。同氏は明石市連合PTA会計監査などを歴任し、同委員には平成23年から就任し、今回で3期目です。なお、本市の教育委員は4人で任期は4年です。



生きがいにつながるように

障害者の支援に向けた取り組みを充実させていく。働くことは人生の生きがいにつながる。ことから、今後も関係機関と連携しながら支援を引き続き行っていく。

また、これまでの献立の検証や新献立のための研修会の実施など、安全安心な給食の実施に取り組んでいる。

議会運営

委員長に聞く



議会運営委員会とは
議会の円滑な運営に必要な協議や意見の調整、
法定の事項に関する調査などを担当している委員会

松井 久美子

在職5期。議長、副議長、建設企業常任委員長などを歴任。62歳。

重点的に取り組む事項
昨年9月に明石市議会として手話言語法制定を求め意見書を国に提出し、本年4月からは手話言語を確立するとともに要約筆記・点字・音訳等障害者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例が施行されました。また、聴覚に障害のある議員が当選したことで、市議会も5月の本会議から手話通訳者を配置しています。今後は、さまざまな障害者への対応を検討する必要があります。その他、決算議案をよりの確に審査するため、これまで決算審査特別委員会で行っていた各会派の総括質問を、今年度からは本会議において、各会派の代表者による代表質問として行いました。

委員長から一言

議会運営委員会として円滑な議会運営を進めることはもとより、本年度設置した明石市議会活性化推進委員会とも連携し、議会改革の歩みを進めていきたいと考えています。

中心市街地再整備等

特別委員長に聞く



中心市街地再整備等特別委員会とは
明石駅前再開発事業や再開発ビルの整備内容など、
明石のまちづくりの総合調整に関する委員会

穂原 成人

在職3期。監査委員、建設企業常任委員長、生活文化常任副委員長などを歴任。56歳。

重点的に取り組む事項
中心市街地再整備の中で最も大きなプロジェクトである明石駅前再開発に向けた再開発ビルの建設工事が進行しています。そのため、工事期間中の安全対策や利便性が低下しないよう議論を行う必要があります。

委員長から一言

中心市街地の再整備事業では、建物整備や道路・歩道などの整備を行い、利便性や回遊性の向上を図っていきま。しかし、明石のまちに活気を取り戻し、元気なまちを作り上げるためには、皆様のご理解とご協力が必要不可欠ですので、今後ともよろしくお願います。